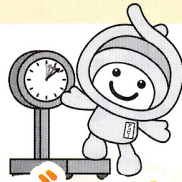


いっしょ
一歩ふみ出す健康づくり



健康増進課

東保健センター 〒362-0015 緑丘2-1-27
(母子保健・予防接種) ☎774-1414・☎774-8188
西保健センター 〒362-0074 春日2-10-33
(成人・精神保健) ☎774-1411・☎776-7355

予防接種の受け忘れはありませんか？



日本脳炎予防接種

日本脳炎の予防接種は、接種後に重症ADEM(急性散在性脳脊髄炎)を発生した事例があったことから、平成17～21年度まで日本脳炎予防接種の積極的な勧奨は行いませんでした。その後、新たな日本脳炎ワクチンが開発され、現在では通常通り予防接種を受けることができるようになっています。

この積極的勧奨が差し控えられていたことにより、表1に該当する人は予防接種を受ける機会を逃していることがあります。特に、平成27年度に18歳になる人(平成9年4月2日～平成10年4月1日生)で、第2期の予防接種を受けていない場合は、なるべく早い時期に接種を受けましょう。

【表1】

対象者	接種方法
平成7年4月2日～平成19年4月1日生の人	20歳の誕生日の前日までに全4回を接種
平成19年4月2日～平成21年10月1日生で、7歳6カ月までの間に第1期の3回が終了していない人	第2期の接種期間(9～13歳の誕生日の前日)に第1期の未接種分を接種

※接種間隔など詳しくは、東保健センターに問い合わせてください。

平成27年度 高齢者インフルエンザ予防接種

インフルエンザを予防するには、流行する前の接種が有効とされています。接種できる期間は、12月25日(金)までです。☎65歳以上の人 費千円 健康保険証 実施医療機関へ直接電話で予約

平成27年度 高齢者肺炎球菌予防接種

高齢者肺炎球菌予防接種の対象者は、年度ごとに決まっています。平成27年度の対象者は表2に該当する人で、接種できる期間は、平成28年3月31日(木)までです。費5千円 予診票(市役所、各支所・出張所、東・西保健センターにある)、健康保険証 実施医療機関へ直接電話で予約

【表2】

対象者	生年月日
65歳になる人	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生
70歳になる人	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生
75歳以上	昭和16年4月1日生以前

予防接種副作用被害救済制度の請求

平成23年4月1日～平成25年3月31日の間に、ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん予防)ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンのいずれかを接種した人のうち、接種後に何らかの症状が生じ、医療機関を受診した人は、接種との関連性が認定されると医療費・医療手当が支給される場合があります。

具体的な請求方法などについては、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の救済制度相談窓口にお問い合わせください。

【相談窓口】独立行政法人医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口

☎0120-149-931(フリーダイヤル)

※フリーダイヤルが利用できない場合は☎03-3506-9411(有料)にお問い合わせください。

【受付時間】9:00～17:00(土)(日)(祝)、年末年始を除く)

母子・成人・精神保健事業スケジュール

各事業についての詳細は上尾市健康カレンダーまたは市ホームページをご覧ください。健康カレンダーは東・西保健センター、市役所、各支所・出張所などにも置いてあります。

母子保健 東保健センター

- 両親学級** 平成28年1月16日(土)9:30~15:15 ㊟平成28年3~6月出生予定の人【要予約・12月16日(水)から】
- 10か月児健康相談** 12月21日(月)9:00~10:00 ㊟平成27年2月生まれの子ども
- すくすく計測会** 平成28年1月5日(火)9:30~11:00
- にこにこ健康相談会** 12月15日(火)9:30~10:30
- フッ素塗布** 平成28年1月14日(木)13:15~14:00 ㊟西保健センター
- 離乳食教室開始期・初期** 12月22日(火)10:00~11:00 ㊟4か月児健診を終了した子どもと保護者【要予約】
- 離乳食教室後期・完了期(託児有)** 平成28年2月17日(火)9:30~13:00 ㊟平成27年2~3月生まれの子どもと保護者【要予約・12月24日(水)から】

成人・精神保健 西保健センター

- 動いて楽しく脱メタボ塾** 12月25日(金)、平成28年1月12日(火)13:30~15:30【要予約】
- 統合失調症の家族サロン** 12月17日(木)13:30~15:00
- 食事でむりなく脱メタボ塾** 12月16日(水)、平成28年1月13日(火)13:30~15:30【要予約】

平日夜間・休日診療

小児の救急電話相談

子どもの急病時(発熱、下痢、嘔吐など)の家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。

【相談時間】(月)~(土)/19:00~翌朝7:00、(日)・(祝)、12月29日~平成28年1月3日/7:00~翌朝7:00 【電話番号】#8000または㊟833-7911

大人の救急電話相談

大人を対象とする夜間の急な病気やけがに関して、看護師が電話で相談に応じます。

【相談時間】18:30~22:30(毎日)

【電話番号】#7000または㊟824-4199

平日夜間診療

●小児科/内科

「平日夜間及び休日急患診療所」で行っています。
(緑丘2-1-27東保健センター3階、㊟774-2661・㊟772-1353)
【診療日】(月)~(金)(祝、12月30日~平成28年1月3日を除く)
【診療時間】20:00~22:00(受け付け/21:30まで)

●休日診療

●小児科/内科/外科

「平日夜間及び休日急患診療所」(上記参照)で行っています。
【診療日】(日)・(祝)、12月30日~平成28年1月3日
【診療時間】9:00~12:00(受け付け/11:30まで)
13:00~16:00(受け付け/15:30まで)

●歯科

「北足立歯科医師会休日診療所」で行っています。
(鴻巣市赤見台1-15-23、㊟048-596-0275)
【診療日】(日)・(祝)、12月30日~平成28年1月3日
【診療時間】9:30~12:30

●産婦人科1月当番医 【診療時間】9:00~12:00、13:00~16:00

1・10・24日	上尾中央総合病院	㊟773-1111・㊟773-7122
2・11・31日	ひらしま産婦人科	㊟722-1103・㊟722-1146
3・17日	ナヤマレディースクリニック	㊟771-0002・㊟771-3922

●歯科年末年始当番医 【診療時間】10:00~12:00

12月30日(水)	矢部歯科医院	㊟776-7800・㊟771-9098
	なかむら歯科	㊟・㊟773-7597
	まさみ歯科医院	㊟721-8810・㊟721-8762
31日(木)	須田歯科医院	㊟771-8148・㊟775-6563
	えのもと歯科クリニック	㊟775-1131・㊟775-1130
1月1日(祝)	斎藤歯科医院	㊟775-7177・㊟775-7172
	白鳥歯科・矯正歯科	㊟723-0000・㊟723-6000
	2日(土)	内田歯科医院
3日(日)	吉岡歯科医院	㊟・㊟771-5330

※広報掲載の後、当番医の変更が生じる場合もあります。各新聞の埼玉版休日医欄も参考の上、お出掛けください。

今月の健康

No.415

高齢者の難聴 ~老人性難聴と補聴器の選択~

加齢に伴う聴力低下は50歳後半から起こります。高齢になり耳の聞こえが悪くなると、「音は聞こえるが、何を言っているのか分からない」「うるさいところで聞き取れない」など、疎外感を感じて引きこもりがちになる場合もあります。

老人性難聴は薬や手術で治すことはできず、日常生活に困る場合には補聴器が必要です。「補聴器を付けると難聴が進行するのではないか」とか「ピーピー音がして使えない」と言う人がいますが、補聴器を専門にしている耳鼻科医の診察を受けて正しく使えば、全く心配はありません。

一口に補聴器といっても、メーカーや形、値段はさまざまです。形は、耳に掛けるタイプや耳の穴にすっぽり収まるタイプが多く出回っています。機能としては、周囲の雑音を抑制する物、マイクの方角を調整する物、音の強調を細かく調整できる物、音の大きさをリモコンで調整できる物などがあります。小さくて性能が良い物ほど高価格になり、片耳で10~40万円と幅がありますが、必ずしも高価な物が良く聞こえるのではなく、聴力レベルや使う環境などによって選ぶ必要があります。使用に際しては定期的な耳の診察や聴力検査、補聴器の点検が必要です。「補聴器は恥ずかしい」と考える人もいますが、目立たない物やおしゃれな色もあります。購入するときは実際に試してみて、何度か調整を受けることが重要です。

聴力障害の程度によっては補聴器購入に際して補助が受けられる場合もありますので、最寄りの耳鼻科医に相談してください。

上尾市医師会